



2021年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月11日

上場会社名 株式会社エラン

上場取引所 東

コード番号 6099 URL <https://www.kkelan.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 代表執行役員 (氏名) 櫻井 英治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長 (氏名) 原 秀雄

TEL 0263 - 41- 0760

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	23,279	23.5	2,159	40.5	2,175	40.3	1,482	42.1
2020年12月期第3四半期	18,854	19.6	1,536	36.2	1,550	36.8	1,042	38.0

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 1,493百万円 (44.3%) 2020年12月期第3四半期 1,034百万円 (37.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	24.48	
2020年12月期第3四半期	17.21	

(注) 1. 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

2. 当社は、役員向け株式給付信託及び従業員向け株式給付信託を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている役員向け株式給付信託及び従業員向け株式給付信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第3四半期	12,422	7,056	56.8	116.72
2020年12月期	11,689	6,184	52.9	102.05

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 7,056百万円 2020年12月期 6,184百万円

(注) 1. 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 株主資本において自己株式として計上されている役員向け株式給付信託及び従業員向け株式給付信託に残存する自社の株式は、1株当たり純資産の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式に含めております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		0.00		14.00	14.00
2021年12月期		0.00			
2021年12月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の2020年12月期の年間配当金は、1株当たり7.00円となります。

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年 1月 1日 ~ 2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,400	20.5	2,700	30.5	2,720	26.6	1,800	24.4	29.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期3Q	60,600,000 株	2020年12月期	60,600,000 株
期末自己株式数	2021年12月期3Q	140,938 株	2020年12月期	938 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期3Q	60,535,326 株	2020年12月期3Q	60,599,120 株

(注) 1. 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

2. 期末自己株式数においては、役員向け株式給付信託及び従業員向け株式給付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している140,000株を含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する説明	2
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症への対策として、感染再拡大地域においては緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置が適用されるなど、社会経済活動が大きく制限されました。新型コロナワクチンの接種や感染対策が段階的に進み、新規感染者数の減少傾向が続き、経済活動の持ち直しに向けた期待感が持たれるものの、変異株の感染拡大による影響や季節的な感染の再拡大の懸念など、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する医療・介護業界につきましては、2021年10月1日現在、65歳以上人口が3,639万人、総人口の29.1%（総務省統計局 人口推計—2021年10月報—）を占めるなど高齢化が確実に進行しており、当社グループに係るサービスの市場規模はますます拡大するものと思われまます。

こうした環境の中、当社グループは、介護医療関連事業の主力サービスである「CS（ケア・サポート）セット」をより普及・拡大させるために、全国21ヶ所の営業拠点において、営業活動を施設（病院及び介護老人保健施設等）に対して展開してまいりました。これにより、当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の新規契約の施設数は201施設、解約施設数は49施設となり、当第3四半期連結会計期間末のCSセット導入施設数は、前連結会計年度末より152施設増加し1,766施設となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は23,279,940千円（前年同期比23.5%増）、営業利益は2,159,256千円（同40.5%増）、経常利益は2,175,129千円（同40.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,482,095千円（同42.1%増）となりました。

当社グループは、2021年11月1日より、千葉県千葉市において、当社千葉支店の営業を開始いたしました。

千葉支店の開設により、東京都23区内及び千葉県内において、地域により密着したより細やかで迅速なサービスを提供するとともに、CSセット導入施設の開拓を進め、同地域の営業強化・事業拡大に努めてまいります。また、今後も当社グループは、千葉支店を含めた全国22営業拠点から、CSセットの導入施設の開拓をさらに進め、全国的な営業活動・事業拡大に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、12,422,325千円と前連結会計年度末と比べて733,250千円の増加となりました。このうち、流動資産は10,816,577千円と前連結会計年度末と比べて636,452千円の増加となりました。これは主に、商品が151,072千円減少し、貸倒引当金が37,870千円増加（流動資産全体に対しては減少）したものの、現金及び預金が415,506千円、売掛金が437,446千円増加したためであります。

固定資産は、1,605,748千円と前連結会計年度末と比べて96,797千円の増加となりました。これは有形固定資産が14,267千円、無形固定資産が48,951千円減少したものの、投資その他の資産が160,017千円増加したためであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、5,365,657千円と前連結会計年度末と比べて139,213千円の減少となりました。これは主に、買掛金が213,645千円増加したものの、未払法人税等が251,316千円減少したためであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、7,056,667千円と前連結会計年度末に比べて872,464千円の増加となり、自己資本比率は56.8%となりました。純資産合計の増加は、主に利益剰余金によるものであり、株主に対する配当金の支払い424,193千円が生じたものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1,482,095千円により利益剰余金が1,057,902千円増加したためであります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する説明

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,497,677	4,913,184
売掛金	3,279,413	3,716,860
商品	982,361	831,289
貯蔵品	12,992	22,930
未収入金	1,765,497	1,752,684
その他	83,241	58,558
貸倒引当金	△441,059	△478,930
流動資産合計	10,180,124	10,816,577
固定資産		
有形固定資産	316,775	302,508
無形固定資産		
のれん	48,856	19,542
その他	113,435	93,797
無形固定資産合計	162,291	113,340
投資その他の資産		
その他	1,090,137	1,286,186
貸倒引当金	△60,255	△96,287
投資その他の資産合計	1,029,882	1,189,899
固定資産合計	1,508,950	1,605,748
資産合計	11,689,074	12,422,325
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,157,946	4,371,591
未払法人税等	557,417	306,100
賞与引当金	—	25,933
その他	786,468	644,974
流動負債合計	5,501,831	5,348,600
固定負債		
株式給付引当金	—	5,684
役員株式給付引当金	—	9,310
その他	3,039	2,062
固定負債合計	3,039	17,056
負債合計	5,504,871	5,365,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	573,496	573,496
資本剰余金	543,496	543,496
利益剰余金	5,092,828	6,150,730
自己株式	△320	△197,151
株主資本合計	6,209,500	7,070,571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△25,297	△13,904
その他の包括利益累計額合計	△25,297	△13,904
純資産合計	6,184,203	7,056,667
負債純資産合計	11,689,074	12,422,325

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	18,854,265	23,279,940
売上原価	14,091,662	17,494,006
売上総利益	4,762,602	5,785,933
販売費及び一般管理費	3,226,071	3,626,677
営業利益	1,536,530	2,159,256
営業外収益		
固定資産売却益	100	583
助成金収入	—	3,071
受取遅延損害金	11,686	11,332
その他	4,158	3,700
営業外収益合計	15,945	18,688
営業外費用		
固定資産除却損	—	1,447
固定資産売却損	124	—
コミットメントフィー	2,000	—
その他	19	1,367
営業外費用合計	2,143	2,814
経常利益	1,550,332	2,175,129
税金等調整前四半期純利益	1,550,332	2,175,129
法人税、住民税及び事業税	503,927	683,649
法人税等調整額	3,647	9,383
法人税等合計	507,574	693,033
四半期純利益	1,042,757	1,482,095
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,042,757	1,482,095

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	1,042,757	1,482,095
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,011	11,393
その他の包括利益合計	△8,011	11,393
四半期包括利益	1,034,745	1,493,489
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,034,745	1,493,489
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、「株式給付信託(BBT)」及び「株式給付信託(J-ESOP)」の信託契約に基づき自己株式140,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が196,830千円増加し、当第3四半期連結会計期間末における自己株式が197,151千円となっております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予測することは困難ですが、当社は外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、現時点では、今後、当第3四半期連結累計期間と同程度の影響が継続するとの前提に基づいて、固定資産の減損損失の判定、繰延税金資産の回収可能性の判定等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

当社グループは、介護医療関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

当社グループは、介護医療関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。